

### ■欧州：欧州電気事業者連盟、電気事業にかかる税金水準の均等化を訴え

欧州電気事業者連盟は2009年7月8日に発表した報告書の中で、電気事業者や電力需要家に課せられる税金の水準が、欧州各国で大きく異なる実態を明らかにした。報告書は、税金水準を比較する対象国として、必要な情報が入手可能な10カ国（西欧諸国中心）を中心に取り上げている。例えば、kWh当たりの電気料金に占める税金の水準が最も高いのがスウェーデン（5.11ユーロセント）で、これにドイツ（4.03ユーロセント）が続き、最も低いのがスペイン（1.67ユーロセント）やポルトガル（1.46ユーロセント）などといった結果が示されている。報告書は、こうした税金水準の差異が、電気事業者による同一条件での競争を損ねており、税金水準を均等化する施策を検討する必要があるとしている。